

平成 2 2 年 第 7 回

教育委員会定例会会議録

平成 2 2 年 7 月 7 日

中央区教育委員会

平成22年第7回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成22年7月7日(水) 午後2時00分

場 所 中央区役所6階会議室

出席委員 中央区教育委員会委員長 鈴木ゆか
委 員 松川昭義
委 員 永嶋久子
委 員 安達公一
教育長 高橋春雄

説明のために出席した事務局職員

次 長 新治 満
庶務課長 田野則雄
副 参 事 遠藤 誠
学務課長 長嶋育夫
指導室長 和田利次
統括指導主事 佐藤 太
統括指導主事 山崎 隆
図書文化財課長 濱田 徹

書 記 中央区教育委員会事務局

庶務係長 印田広一
庶務係員 渡邊和歌子

開 議 午後2時00分鈴木委員長開会宣言

会議規則第30条による署名委員

委員長 鈴木ゆか
委 員 松川昭義

日程第1 報告事項
各課事業報告について

委員長 それでは、ただ今から平成 22 年第 7 回教育委員会定例会を開会いたします。
 初めに、本日の会議録の署名委員を指名いたします。本日は松川委員に
 願います。

 それでは、本日の日程に入ります。

 日程第 1、報告事項について順次報告ねがいます。

次 長 「平成 22 年第二回区議会定例会（6 月議会）における一般質問」について
 資料 1 により報告

庶務課長 「日本橋小学校温水プールでの薬品誤混同による塩素ガス発生事故」につ
 いて資料 2 により報告

 「カネヨ月島冷蔵倉庫解体工事現場におけるアンモニアガス漏洩事故」につ
 いて報告

副 参 事 「区立小学校・幼稚園の仮校舎への一時移転」について資料 3 により報告

学務課長 「区立小学校通級指導学級(情緒障害等)の設置」について資料 4 により報告

庶務課長・指導室長 「意見・要望」について資料 5 により報告

委員長 ただ今までの報告について、何かご質問等ございましたら伺いたいしま
 す。

松川委員 小学校の改築についてですが、改築の案内板だけでなく工事中の塀に新校
 舎のイメージパスも掲示したらいかがでしょうか。地域の方にとっても、
 夢と希望のあるこういう学校ができるんだということがわかるでしょうし、
 特にこれから解体工事に入り目隠しされていくことを考えると、余計にこ
 ういうカラーの完成予想図を何カ所か学校の周辺に設置してもらえると、地
 域住民や児童も希望を持っていけるのではないかという気がします。

 それからもう一つ、勝どきの事故発生報告について気になることがあります。
 8 時 41 分に事故が発生したということですが、現場に比較的近い場所に
 月島第二小学校があるにもかかわらず、教育委員会に通報が入ったのが 11 時
 というのは少し遅いような気がするのですが。

副 参 事 新校舎のイメージパスの掲示につきましては検討してまいります。

次 長 勝どきの事故発生報告に関してのお尋ねですが、防災危機管理室の無線で
 何か起きたということを知ったのが 8 時 41 分です。無線ですので途切れ途
 切れでしか情報がとれませんので、その後何が起きているのか消防署等に問
 い合わせをいたします。実際に現地に出向いた部隊から消防署に連絡が入り
 その情報をまとめ、何が起きているのかについてほぼ概要がつかめます。

 この後、防災危機管理室の職員が現場に向かい、現場の状況を確認いたし
 ます。警戒区域がこの区域に設定されたのかですとか、その場所に立ち入
 ることができるのか、臭気の状態はどうかといったことについて現地確認を
 行い、その上で本庁に情報を集めまして、その後、関連部署に正しい情報を伝

えるということになります。つまり、そういう手順のなかでこのようなタイムラグが生じてしまったものと存じます。私どもといしましては、不確実な情報でも危ないものについては早急に情報が欲しいということがありますので、今後、不確実なものであっても第一報が入った段階で教育委員会としてどう対応すべきか検討しなければならない面もありますので、こういった情報については第一報の段階でも連絡して欲しい旨要望してまいりたいと思います。

松川委員 月島第二小学校が近いですね。消防車のサイレンが聞こえるなどしていると思うのですが、学校ではどうだったのでしょうか。

次 長 この情報を各校に連絡しましたとき、月島第二小学校では消防車両のサイレン音などをあまり認識はしておらず、特に臭気もなかったということでした。勝どき四丁目の工事現場は勝どき五丁目に近いところでございますので、学校からは相当距離がある状況ですので、騒音や臭気が届いていなかったのではないかと思います。

松川委員 わかりました。

安達委員 今回の事故に関連してですが、本区は過去にサリン事件を経験している区であり、あの事件の際は現場にほぼ隣接するかたちで京橋築地小学校がありました。つまり、そういう経験をしている本区ですので、機敏な情報収集に努めていただきたと思います。今回は、特に距離もあって問題もなかったようですが、サリン事件のときでも、まず最初は何が起こったのかわからないという状況がありました。私もテレビの速報で知りましたが、最初はガス爆発みたいなのわさまで出ていたことを記憶しています。やはり、そういうことを経験している本区ですので、何かあったときには迅速な対応をお願いしたいと思います。

松川委員 もう一つよろしいですか。先ほどの説明のなかでエピペンというのかな、私は勉強不足で初めて聞いた言葉なのですが、もう少し詳しく説明していただけますか。

学務課長 食物アレルギー等によりショック症状を起こすことがあります。非常に重症な場合は呼吸困難を起こすこともあります。エピペンというのは自己注射薬のことで、ふたをあけて太ももの外側に刺すと薬が出てショック症状がおさまるというものです。これを処方されている児童は中央区にも数人おります。エピペンは本来医療行為にあたりますので、児童本人もしくは保護者の方が行うことが原則です。しかし、緊急時に、ましてやそういった反応が起きてしまったときに、ひょっとしたら自分では打てないということが想定されますので、いざというときにはこういう処置をとるということを事前に学校と相談し、場合によってはエピペンを校長室または保健室で預かり、も

しそういう症状が起きたときには対応をするという体制をとっておこうというものです。

教 育 長 少し補足します。この件は、現在学校では担任や養護教員等が複数で取り組む体制になっていますが、さらに教員全員で対応できないかというお尋ねでした。ただし、これは保護者の同意のもとで行っておりますので、保護者の意向もあるし、また学校現場の問題もありますので、保護者の意向も含めた学校現場とよく相談した上で、広げられるなら広げていきますという答弁を行っています。

松川委員 現実にはそういう事例というのはあるのですか。

学務課長 聞いている範囲内では、エピペンを使用したという事例はございません。

委 員 長 ほかにいかがですか。よろしいでしょうか。

それでは私から一つお願いします。子宮頸がんのワクチンについてですが、どんどんPRに努めていただき、できるだけこういうものを女性が打てるということを浸透させていただきたいと思います。これは親にとっては大変ありがたいです。

先日、学校保健委員会に出席した際に、医師会の会長さんも何かあればいろいろ協力をさせていただきたいということでした。例えばお医者様に講演をお願いするとか、あるいは学校評議員等に出席いただき、その中でこういう性の問題ですとかをお話いただくなど、地域の方と一緒にそういう専門の方が加わって学校をサポートしていくということができればいいと思います。

学務課長 今回は区で補助を行い子宮頸がんワクチンを中学生に対して無料で接種するという事になっています。その広報につきましては、保健所とも連携し各中学校の事情に応じ、保健所からの出前講座を7月中旬に各校1回ずつ行ってまいります。それ以降は、受診票がそれぞれ直接送られてまいりますので、その中にもパンフレットを同封いたします。

それから、お医者さんによる講演についてですが、私どももそういった機会があればいいと思っています。産婦人科医ではありませんが学校には学校医という先生方もいらっしゃいます。保健委員会などで生徒を含めた形で開催している学校もありますので、そういったときにもし取り上げてもらえればと考えております。ただし、学校医は内科医ですので、子宮頸がんに関してそういった活動ができるかというのははっきりとお約束はできませんが、何かの機会で、また保健所にもドクターがおりますので講演などしていただけたらと考えています。

それから、学校評議員に学校医を入れるどうかにつきましては、学校の中でもいろいろ議論があらうと思いますが、私どもとしてはせっかく学校医の

先生方を各学校1人ずつお願いしておりますので、そういうのが必要であれば、今後検討してまいりたいと存じます。

委員長

よろしくお願いします。

永嶋委員

先ほどの事故発生の報告書に関連してサリンのお話が出ましたが、実は私はあの日車に乗っており本願寺の前で立ち往生になっていました。担架で人々がどんどん運ばれており、とても普通の状態ではありませんでした。運転手さんが何が起こったのか聞きにいかれて、戻ったときに「地下鉄内で電車と電車が衝突した」と言われたんです。私は思わず「それは追突ですか」と尋ねました。その後会社に行き、サリン事件と知ったのは2・3時間後でした。このように突発的に起こる予期せぬ事故というのは、それがどういふものなのかということ把握するのは、なかなか難しいことのように思われます。サリン事件のときは実際に現場にいた私も何が起こったのかわかりませんでしたから。ちょっと当時のことを思い出しましてお話しさせていただきました。

松川委員

一般質問の7番目についてですが、質問も答えも非常に抽象的なのですが、質問者は若者の根気のなさや他人への依存的傾向について、教育委員会として何か具体的な施策を講じて欲しいという意図の質問なのでしょうか。

次長

ご質問の方は、かねてから現在の若者の気風とか、例えば働きに行っても気に食わない仕事ですとその日にやめて帰ってしまうような若者の姿を見るにつけ、こういうことでは将来が心配であり、やはり基本的には家庭がしっかり家庭教育をすべきだと考えておられます。そのようなことから、それぞれ子どもさんをお預かりしている保育園や学校でも何らかの対策をとるべきではないのかとお尋ねであり、質問者本人が何か具体的な施策を考えての問いではございませんでした。私どもとしては、教育基本法の定めている目的、それはまさしく社会を形成する人間としての自覚に基づいた人間形成というのが教育の目的になっていますので、それに向けて、各校が教育目標を掲げて努力しており、それを教育委員会と区が支援するという姿で今後も臨んでいきますということをお答えしております。

教育長

補足しますと、大上段な質問ではありますが、ご本人が例えば褒めて育てるといった事例をどこかでご覧になったものと思われます。私どもは次長がご説明申し上げたように、教育全体についてお答えするスタンスに立てば、褒めることとかあまり細かいことまではなかなか申せませんので、そういう意味では抽象的になるということでございます。

永嶋委員

先日、柏学園でのセカンドスクールを視察いたしました。例えばご飯のよそい方やお風呂の入り方などもあそこで教えられています。そういうことは本来なら家庭教育でやるべきことですね。しかし、実際にはああいう共同

生活の中で、ほんとに人として大切なことをしっかりと教えておられることを知り、実はとても感動し、同時にすばらしいことと思いました。

そこで、中央区ではいろいろな機会をとらえながら教育をしていますよ、しかもその教育というのは単に知識ということだけではなく、人間が生きるための大変重要なことも体験学習のなかで指導していますということを、保護者の方に見ていただけたらいかがでしょうか。

指導室長 学校の中の教育活動だけではなく、柏学園などへも足を運んでいただけるのであれば、保護者の方に見に来ていただくのも結構だと思っております。

安達委員 セカンドスクールや館山臨海学校など、宿泊を伴う教育というのは本当に大切だと思います。しかし、そこで何が大事かと言えば、やはり親から離れるということが大きな目的だと思います。

私自身、京橋築地小学校の館山臨海学校の遠泳に毎年参加させていただいておりますが、そこで子どもたちは海に入り足がつかないところまで行って1時間ほど泳ぎます。余裕がある子もいれば、海に入るときに不安で顔が青ざめている子などさまざまです。しかし、最初は青ざめていた子が完泳できたときには自信満々な晴れ晴れしい顔をして上がってきます。このような子を見るたびに、こういった体験がその子にとってとても貴重なものになるという思いでいっぱいになります。

このような体験学習では、やはり親から離れて友達同士の集団生活を経験し、親に甘えられない環境での生活というところが一番大事なのではないでしょうか。私がPTA会長のときに保護者の方からビデオ撮影にきたいというお話がありました。しかし、親が来るということでどうしても子どもは依存するようになりますし、一部の保護者しか来られないという状況もまずいと感じました。さらに、こういった行事の一番の目的は親から離すということが大事だと思ったものですからそれはお断りしました。こういった場合、大抵の学校は記録用のビデオを撮っていますので、後日そういうビデオなどでご自分のお子さんの様子などを見ていただき、完泳して海から上がってきたときの表情の違いをじっくり見ていただきたいと思います。そして、ご自分のお子さんが帰ってきたら、よくやったとぜひ褒めてあげてほしいと思います。

委員長 柏学園などはすごく充実して立派な施設なのですから、PTAの方を対象とした見学ツアーのようなものを企画してはいかがでしょうか。

それともう一つ、これは私の個人的な意見なのですが、一般質問のなかの「子どもに社会人としての公共心・独立心を植えつける施策は」に関連しまして、私も子どもを預かって一緒に生活したりしていますと、「そんなことも知らないの」「そんなこともできないの」ということを感じる場合があります。

そして、そのようなとき一番最初に浮かぶのは、申し訳ないのですがその子の親御さんの顔なんですね。学校の報告などでは「子どもたちは頑張っていてやっています」などと先生方はすごく気を使って言っていますが、ときには「こういうことができません」というようなことをはっきり言ういただくことも必要であると思います。例えば、柏学園で火起こしがうまくいかなかったのであれば、「一生懸命に飯ごう炊飯に取り組みカレーを食べていました」と言うのではなく、「火起こしがこのようにしかできませんでした」といった報告をした方が保護者の方も気づくと思うのです。

松川委員 P T Aを対象とした柏学園等の施設の見学というお話がでしたが、学校としての見学会のようなものはあるのでしょうか。

学務課長 教育委員会や学校で主催して校外学園を保護者の方にお見せするという事業はありません。

松川委員 先日の柏学園視察の際は、宿泊棟だけでなくいろいろな教室や体育館など施設全体を拝見させていただきましたが、とても立派な施設だとあらためて感心しました。保護者の方にも何らかの方法でぜひ見ていただきたいですね。

永嶋委員 そうです。本当にすばらしい施設ですね。

教 育 長 区でも広報広聴の関係で、施設見学会といった制度もあります。そういう意味では教育としての広報広聴の一環で、P T Aの希望者を校外施設等に連れていくということは考えられないことはありません。これまではやっておりませんが検討する必要もあるのではと思います。

委 員 長 例えばP T A連合会の中でこういったお話が出るといいのではないのでしょうか。

教 育 長 私の住まいは千葉市ですが、千葉市でも一般公募により清掃工場などの見学会等を行っています。そういう意味からも、教育のジャンルの中でそういうことを検討してもいいのではないかと思います。

委 員 長 参加してみたいと思う保護者の方も多いかもしれません。

委 員 長 ほかにご意見等はございますか。

（「なし」の声あり）

委 員 長 ご意見等ないので、これで本日の委員会を閉会いたします。

午後 3 時 2 1 分 鈴木委員長閉会宣言

署名委員